



令和6年5月1日
有松まちづくりの会

有松まちづくりの会役員会 (4月22日)

5月22日(水)13:30より絞会館2階で開催される総会に向けて、本年度の活動方針や新規事業及び主要事業・収支予算案について話し合いました。また、役員就任要請や慶弔規定の新設など、会則の一部改訂についても総会で諮ることとなりました。「有松を語ろう会」の意見を反映させた具体的な事業も織り込んでいくこととしました。

有松天満社・3町山車庫 虫干し (4月14日)

昨年に続き晴天に恵まれての作業でした。

天満社取材に向かう途中、参道脇で珍しい光景に出会いました。手水鉢近くの「いろはの瀧」に水流が戻っていました。水脈は枯れ、今は水道水を流しているとのことでした。

上の広場では文嶺講の講員の手で提灯の虫干し。3町の山車庫でも虫干しが作業の中心ですが、3町ごと特徴があります。東町は他と違いひもに吊り下げることにはしていません。

他に、幕を干したり上山や車輪のチェックをしたりしていました。皆さんの表情から、山車を披露できる喜びが伝わってきました。



(花屋Luore提供)

今月の花 紫陽花(アジサイ)



↑天満社 ↓東町



↓西町 ↓中町

中町唐子車について 山田剛生 (4月16日)

～有松あないびとの会学習会より～

50年近く唐子車と関わってきた山田さんの"山車愛"が伝わってきました。絞りまつりで長年山車の説明をしているだけあって、唐子車を要領よく紹介してくださいました。

○昔は長男しか山車に乗れなかった。楯方も全部町内の人 ○3輦の山車にはブレーキがつけられている。○昔は提灯が約360個つけられていた。今は約200個。○昔は運行途中にやかんで飲酒、今は飲まない。○切通しの常夜灯に山車が衝突することがあった。○有松ならではの揃いの絞衣装。唐子車の衣装のリニューアルはいつか？

嬉しそうに話されるのが印象的でした。



藍の種まき会 (4月6日) 於:moss ARIMATSU

4月にオープンした"モス アリマツ"で藍の種まき会が行われた。参加者はゴマ粒ほどの種 数粒をポットに蒔き、各家庭で育てるといふもの。後日、たたき染めなどの体験会で活用するとのこと。会場には藍の葉によるお茶も用意され、参加者の交流に役立っていた。

企画したのは"イクセンプロジェクト"。

絞りの産地である有松で、たくさんの人と藍と綿を育て、絞り染め文化を受け継ぐ活動 とされていた。

昨年の有松絞りまつりで、たくさんの藍や木綿の種・苗が地域の方々に配布されたことがきっかけ。今年も再度配布予定。他に産地ツアーや体験勉強会も計画しているという。



種まきの様子



春の有松 / haru no arimatsu

遅れた桜の開花を待つかのように、有松を訪れる人が日ごとに増えてきています。

町並み見学をする人、近年は絞り体験をされる人が増えています。有松あないびとの会のガイドさんの案内でまち歩きを楽しんでいる様子もよく見かけます。少人数、お一人でも案内していただけるのも今の時代に合っているのでしょうね。見学や絞り体験の後は、絞会館でのお買い物のお楽しみです。会館前は多くの人で混み合っています。

ところで昭和61年(1986)に皇太子殿下・妃殿下が会館に来たことを知っていますか。



整備進む moss ARIMATSU

庭の植栽も進んでいました。瓦を土留に有効活用。



有松町家ライブ 春の奏 チェロライブ (4月14日) 於:棚橋家住宅

今月と来月の町家ライブは"棚橋邸ゆかりのアーティストシリーズ"。第1弾は"春の奏 チェロライブ"です。なぜ、チェロの演奏なのか。棚橋邸はかつて内科医院の建物で、院長の棚橋龍三氏は学生時代チェロを弾いていたとのこと。6年前、座布団コンサートとしてここで演奏されたチェリスト山田真吾氏が、再び棚橋邸で演奏されました。参加者60名程の中には初回に訪れた方もおり、終始なごやかな雰囲気の中で会は進行しました。



学生時代の演奏風景 ⇒



◆ 今後の 5月18日(土) 14:00~ 薫風の奏 Classicライブ

町家ライブ 6月15日(土) 14:00~ 水無月の奏 おとなのしJAZZライブ

ウコン桜 開花 絞会館駐車場 (4月上旬)

有松の春の訪れを感じるものの一つにウコン桜がある。淡い黄緑色の八重咲の桜花である。

双子の長寿姉妹、きんさん・ぎんさん植樹の木である事をご存じだろうか。1998年11月26日に絞会館で括りの腕前を披露(当時106歳)した時に贈られたちゃんちゃんこのお礼として植えられたそうである。



春の特別展 慶承 染織美術館 (4月12日~15日) 於:竹田嘉兵衛商店

"笹加"でのイベントに寄ってみた。日本各地に息づく染織工芸の作品展。名工たちが伝えるその手仕事に圧倒されると共に、大河ドラマで注目の平安時代の衣装にも接することができた。何よりも、庭が眺められる開放的な空間に竹田家住宅のもう一つの魅力を感じることができた。



庭の眺め



宮廷文化の華展

いけばなワークショップ展 出合い (4月20日21日) 於:六弦とコットン

店内から弦楽器の調べ。誘われるように数名がいけばな展を鑑賞。いけばな体験も盛況で、右写真はその作品。どのいけばなにも同じ葉が使われ、"繋がり"を感じ取れるように工夫がされている。10数名が至福の時を過ごしていた。



連載 有松に おみせ を構えて ① cafe T-Ryujyu (カフェ ティーリュウジュ)

竹田嘉兵衛商店の向いに、開放的な緑に彩られたくつろぎの場所がある。木目の看板もオシャレなカフェ。店主の本田さんにお話を伺いました。

▶ どうして有松にお店を構えることにしたのですか？

以前、ダーシェンカ有松店で店長を2年させていただきました。その時に有松の町に魅力を感じました。ご来店下さるお客様のやさしさに触れ、とても好きな町になりました。この町でカフェをオープンできたらと思い始め、たくさんのご縁に恵まれ、念願のカフェを開くことができました。

▲ これまでのご苦労や喜びは？

たくさんの方に支えられ応援していただき、営業することができました。お陰様で、今年の8月1日で10年になります。有松に出掛けて下さる方や有松の町の皆様の"憩いの場"になれたらと思って営業しています。

▼ これからのこと、こんな町になって欲しいという願いは？

これまでと変わらず、楽しくカフェを続けていけたら幸いです。町に新しい人も加わって、今までにない魅力的なお店が増え、多くの方が楽しめる町になって欲しいです。

営業時間 10:00~17:00 / 定休日 火・水曜日 / ☎ 052-693-9056



お食事やドリンク・デザートをご用意
有松の町に因んだ青いドリンク「藍ラテ」や
「藍色ソーダ」が人気(バタフライピー使用)。
女子会や打ち上げなど、昼でも夜でも
貸切OK。お気軽にお問い合わせください。

絞り鯉のぼり展示（～5月6日） 於：有松東海道

ゴールデンウィークに有松の東海道を歩くと、絞り鯉のぼりに出会えます。今ではすっかり定着したこの展示イベントは、今年で5回目。その設置作業が4月20日から始まりました。

東海道沿いのレトロな古民家には連子格子が嵌められています。そこに色とりどりの絞り鯉のぼりが掛けられます。間隔の狭い格子は指が通らず紐を縛るのが大変。皆さんが手分けして行っています。

有松日本遺産事業の一つで、有松絞商工協同組合と中部人形節句品工業協同組合が企画し開催されるようになったとのこと。鯉のぼりは、それぞれに違う技法が使われ、絞り技法の展示会のようにでもあります。

(写真左)有松郵便局 (写真右)中濱商店⇒



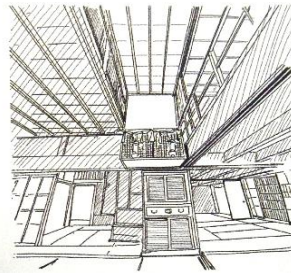
設置作業

岡家住宅の魅力② 通り土間沿いの2室(2階)

岡家住宅の見学で、土間を少し歩き天井を見上げると、太い材で組まれた小屋組みに驚かされる。その際、2階に街道沿いとは別に部屋があることに気づく方も多いのではないかと。

街道沿いの2階の部屋とは接続しておらず、明かり障子を介して互いに見通すことができる。土間から見上げると、街道側から光が差し込み、明るく開放的な空間になっている。(写真右)

土間沿いの2部屋は、明治以降の増築と考えられ、写真左の部屋は網代天井と竹の棹縁天井となっている。数寄屋風の部屋はだれがどのように使ったのだろうか。様々に想像され興味は尽きない。今後どこまで見学できるのか楽しみである。



催事・行事予定

- ～5月6日(月) 絞り鯉のぼり展示 有松東海道 有松まちづくりの会
- 5月 3日(金) 19:00 NPO法人桶狭間古戦場保存会総会 桶狭間公民館
- 5月19日(日) 10:00 桶狭間古戦場まつり・万灯会 桶狭間古戦場公園他
- 5月20日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- 5月22日(水) 13:30 有松まちづくりの会総会 絞会館2階
- 5月26日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 9:00 町内一斉町美活動
- 5月27日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊



井桁屋にて

